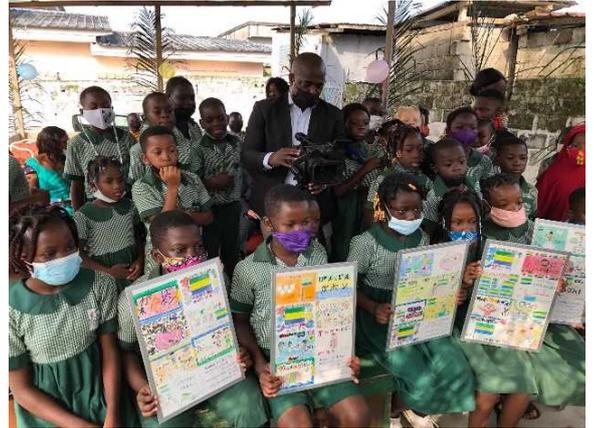


# オリンピックを機にした子供たちの国際交流

在ガボン日本国大使館

2021年に開催されたオリンピック・パラリンピック東京大会において、岩手県二戸市がガボンのホストタウンとなりました。

新型コロナウイルスの影響により交流は制限されたものの、ガボン応援の一環として、同市の仁左平（にさたい）小学校の児童達がガボンの選手への応援メッセージカードを作成しました。カードを実際にガボンの人々に見てもらいたいという子供達の願いに、二戸市と当館が協力し、2021年6月に同小学校とガボンの小学校、エリート・コンプレックス・スクールとのオンライン交流が実現しました。交流会では、野口大使が日本の子供たちに代わってガボンの子供たちにカードを手渡し、ガボンの子供たちが質問に答えたり、日本の子供たちが太鼓演奏を披露したりしました。



オンライン交流会では、ガボン側から日本側への贈り物も用意されていました。ガボン各地の伝統的なお面が飾られた額縁です。これを仁左平小学校の児童達に届けられないわけにはいきません。2022年5月、野口大使は一時帰国の機会に大事に持ち帰り、岩手県二戸市仁左平小学校を訪問し、無事に児童達に届けることができました。児童代表の作山ゆずさんは、「自分たちの書いた小さなメッセージが13,534キロも離れたガボンに届き、こういう形で返ってきたことが、信じられない気持ちでいっぱいです。小さなことでも世界の人々と仲良くすることが大切だと思います。」と喜びを語りました。

オリンピック・パラリンピックをきっかけとした国際交流、永く続きますように！

